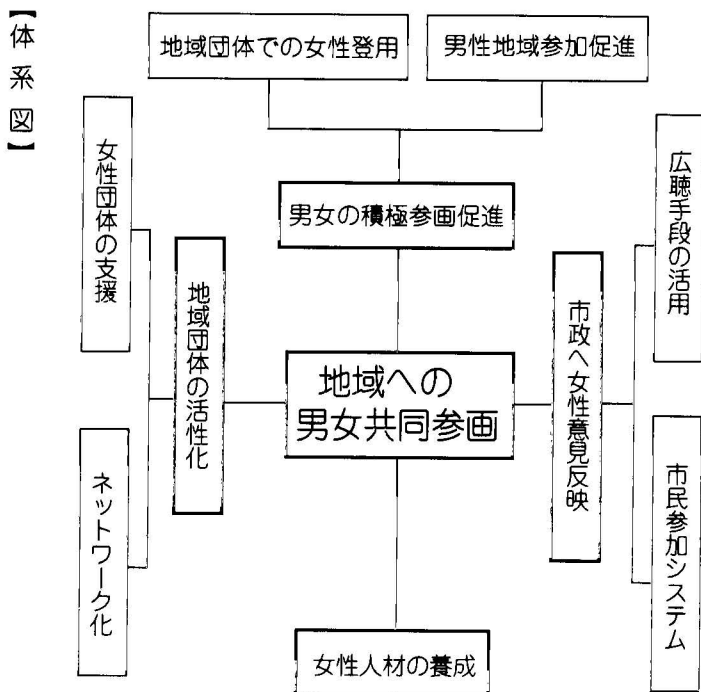


Ⅲ 「地域社会」への男女共同参画

地域社会の環境を暮らし良いものにするためには、さまざまな市民活動をとおして、男女が共同で地域に参画することが大切です。

三浦市における市政モニターのアンケート調査結果で、地域は職場に次いで「男性優位」だとの回答が高く、これは、地域の団体・組織で実際の具体的活動は女性が担っているにもかかわらず、役職の上位を男性が占めるといふ現実が存在していることを示唆しています。

このような傾向は三浦市特有のものではなく、全国的にみられる現象ですが、こうした状況を市民と行政が協力して改善していき、男女共同参画社会の実現を地域からより広い社会へと推進していくことが望まれます。



(1) 男女の地域活動への積極参画

これまでのように地域の施策をすべて行政任せにするのではなく、自分たちの暮らしを守るため、住民がもっと自主的、積極的に市政に参加し、発言や提案をとおして自分たちの声を行政に反映させることが、望まれます。

そのためには、わが国のサラリーマン男性が地域社会に参画し、職場で培ってきた経験・能力を地域の活動に活かし、女性が地域で培ってきた経験・能力と組み合わせしていく努力が必要です。

① 地域団体における女性役員の登用

地域社会が抱えているニーズや問題点をきめ細かく把握しているのは、なんとといっても具体的活動に従事している女性です。

各地区の自治会や学校での保護者会などで、こうした女性の発言権を高めるために積極的に役員に登用し、女性の視点を活かした地域づくりをすすめることが必要です。

- 地域のさまざまな団体で女性を役員として登用するよう、地域風土の改革の啓発に努めます。
- 団体の役員に登用できる女性の人材を発掘するとともに、地域リーダーとしての養成を図ります。

② 男性の地域参加の促進

三浦市では、第一次産業に従事する男性は比較的地域の課題に取り組む機会が多いと考えられますが、市外へ通勤するサラリーマン男性が地域社会への関心を高める方策が

必要です。

それには、男性の地域参画を促すセミナー・フォーラム等の開催や、これまで女性中心に活動している団体に男性が共に参加していくことが望まれます。

- 男性の地域参画を促進するためのセミナー・フォーラム等の開催に努めます。
- 女性中心に活動している地域団体に男性の参加を増やすよう、それらの団体の活動に関する情報の提供・周知を図ります。

(2) 市政への女性の視点・意見の反映

男女共同参画プランを具体的に推進していく段階で、これまで潜在していた女性の声をより広範に反映させ、暮らしの改善に寄与することが必要です。

さらに男女を問わず、今後は地域行政に市民が積極的に参画し、意見・提案を反映させる仕組みづくりが求められています。

① “広聴”手段の積極活用

三浦市ではこれまで女性が、農業・漁業・小売業など多くの分野で力を発揮して地域の暮らしを支えてきましたが、その女性の意見・要望はなかなか表面にあらわれていたとはいえません。

また、他都市と比べて市の審議会・協議会への女性委員の登用率が低く、この点でも改善が必要です。

- 市政モニター、市民アンケート調査などの“広聴”手段をとおして、女性の声がより明確に市政に反映できるよう努めます。

② 行政への市民参加システムの開発

近年、全国の先進的市町村では、これまでの意見聴取（広聴）という方式をさらにすすめ、市民生活に密接なまちづくり・環境・福祉・教育などの地域行政の政策形成プロセスに市民が積極的に参加することができる制度・システムづくりが進行しています。

三浦市でもこれらの先進事例をふまえ、女性のみならず、男性の意見も市政に反映させることができる仕組みづくりが必要です。

- さまざまな先進事例を収集し、三浦市における市民参加システムの開発を検討します。

(3) 女性の地域団体の活性化

三浦市では、女性を中心にさまざまな団体が組織化されて地域の暮らしに貢献しています。しかし全国的に共通の問題として、これらの市民活動団体の多くは財政・情報・活動スペースなどの不足に悩み、支障を感じているのが実態です。

① 女性地域団体への支援

今後、地域の暮らしをより改善するため、行政と市民が共に手をたずさえ協力し合っていく局面が増えてきます。

そのため、活動の推進に支障を感じている市民団体に対し、それらをできる限り支援し、より活性化することが望まれます。

- 市内の女性地域団体を把握し、だれもがその種類や活動実態を理解できるよう情報化に努めます。

- なんらかの支援を必要としている市民活動団体に対し、財政・情報・活動スペースなどの面からこれ等を支える方策を検討します。

② 女性地域団体のネットワーク化と活動拠点づくり

さまざま領域で活動している女性地域団体が、相互に情報を交換し合い、女性共通の課題について率直な討議を交わせる場が求められています。

そのため、市内の女性活動団体をヨコにネットワーク化し、互いに協力し合える体制をつくっていく必要があります。ネットワーク化とともに、男女平等と共生の問題について学習し、情報・資料を集積し、教育・研修も行えるセンター的な施設の提供が望ましいと考えられます。

- 女性地域団体が相互に協力し合えるネットワークの体制づくり、それぞれの活動状況を発表・交換しうる場づくりに努めます。

- 三浦市のすべての女性活動団体が学習・研修・交流などに利用することができる、センター的機能をそなえた施設の提供の可能性について、検討をすすめます。

(4) 地域における女性人材の養成

女性の地域団体の活性化、あるいは行政への市民参加システムを推進するためにも、三浦市の各地域に女性のリーダー的人材を養成していくことが必要です。

そのためには、各地域に潜在する有能な女性を積極的に発掘するとともに、「女性リーダー養成講座」を開設し、神奈川県に関連機関と連携しつつ、研修プログラムの開発、教材の拡充を図らなければなりません。

- 「女性リーダー養成講座」を開設し、そのために必要な研修プログラムの開発、教材の拡充に努めます。
- 三浦市の各地域に潜在する女性人材を積極的に発掘し、すでに各分野で活動している女性リーダーに、養成講座を受講した新女性リーダーを加えて、全女性リーダーのデータベース化を図ります。
- 女性リーダー養成講座

